

【表紙】

【提出書類】 有価証券届出書の訂正届出書

【提出先】 関東財務局長殿

【提出日】 平成29年4月13日提出

【発行者名】 大和証券投資信託委託株式会社

【代表者の役職氏名】 取締役社長 岩本 信之

【本店の所在の場所】 東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

【事務連絡者氏名】 山村 政  
連絡場所 東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

【電話番号】 03-5555-3111

【届出の対象とした募集内国投資信託受益証券に係るファンドの名称】 ダイワ上場投信・TOPIX-17 情報通信・サービスその他

【届出の対象とした募集内国投資信託受益証券の金額】 継続申込期間（平成28年10月14日から平成29年10月13日まで）  
5兆円を上限とします。

【縦覧に供する場所】 名称 株式会社東京証券取引所  
所在地 東京都中央区日本橋兜町2番1号

．【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

平成28年10月13日付で提出した有価証券届出書（以下「原有価証券届出書」）の記載事項を、有価証券報告書の提出に伴い新たな内容に改めるため、本訂正届出書を提出致します。

．【訂正の内容】

<訂正前>および<訂正後>に記載している下線部\_\_は訂正部分を示し、<更新後>の記載事項は原有価証券届出書の更新後の内容を示します。

## 第二部 【ファンド情報】

### 第1 【ファンドの状況】

#### 1 【ファンドの性格】

##### (3) 【ファンドの仕組み】

<更新後>

<略>

<委託会社の概況（平成29年2月末日現在）>

<略>

#### 2 【投資方針】

##### (3) 【運用体制】

<更新後>

<略>

上記の運用体制は平成29年2月末日現在のものであり、変更となる場合があります。

#### 3 【投資リスク】

<更新後>

<略>

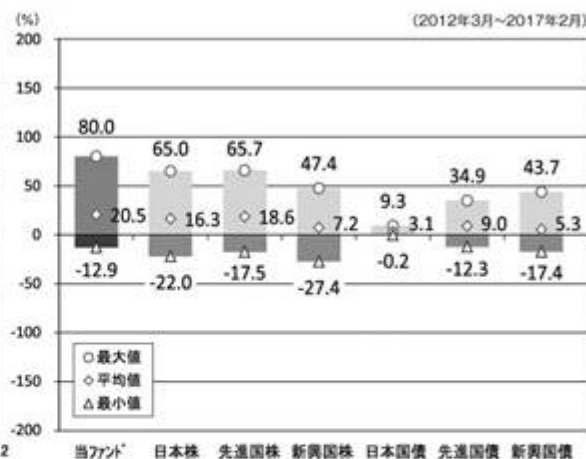
## 参考情報

- 下記のグラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。右のグラフは過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。また左のグラフはファンドの過去5年間における年間騰落率の推移を表示しています。

## ファンドの年間騰落率と分配金再投資基準価額の推移



## 他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

- ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
- ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

## ※資産クラスについて

日本株：東証株価指数(TOPIX)(配当込み)  
 先進国株：MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円ベース)  
 新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)  
 日本国債：NOMURA-BPI国債  
 先進国債：シティ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)  
 新興国債：JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックスー エマージング・マーケット グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)

## ※指数について

●TOPIXは東証が算出・公表し、指数値、商標など一切の権利は株式会社東京証券取引所が所有しています。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。●NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村證券株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●シティ世界国債インデックスは、Citigroup Index LLCが開発したインデックスです。同指数に対する著作権、知的財産権その他一切の権利は同社に帰属します。●JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックスー エマージング・マーケット グローバル・ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみならず情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

## 4 【手数料等及び税金】

## (5) 【課税上の取扱い】

<更新後>

<略>

( ) 上記は、平成29年2月末現在のものですので、税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。

<略>

## 5 【運用状況】

原有価証券届出書の「第二部 ファンド情報 第1 ファンドの状況 5 運用状況」を次の内容に訂正・更新します。

<訂正後>

## (1) 【投資状況】（平成29年2月28日現在）

## 投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
株式	600,786,600	99.72
内 日本	600,786,600	99.72
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)	1,688,235	0.28
純資産総額	602,474,835	100.00

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 投資資産の内書きの時価および投資比率は、当該資産の地域別の内訳です。

## (2) 【投資資産】（平成29年2月28日現在）

## 【投資有価証券の主要銘柄】

## イ．主要銘柄の明細

	銘柄名	地域	種類	数 業種 は	株数、口 また 額面金額	簿価単価 簿価 (円)	評価単価 時価 (円)	投資 比率 (%)
1	日本電信電話	日本	株式	情報・通信業	16,100	5,101.00 82,126,100	4,751.00 76,491,100	12.70
2	ソフトバンクグループ	日本	株式	情報・通信業	9,000	8,450.00 76,050,000	8,362.00 75,258,000	12.49
3	KDDI	日本	株式	情報・通信業	19,800	3,079.00 60,964,200	2,939.00 58,192,200	9.66
4	NTTドコモ	日本	株式	情報・通信業	15,000	2,755.00 41,325,000	2,667.00 40,005,000	6.64
5	任天堂	日本	株式	その他製品	1,300	23,630.00 30,719,000	23,500.00 30,550,000	5.07
6	リクルートホールディングス	日本	株式	サービス業	4,600	5,000.00 23,000,000	5,510.00 25,346,000	4.21
7	セコム	日本	株式	サービス業	2,200	8,367.00 18,407,400	8,185.00 18,007,000	2.99
8	電通	日本	株式	サービス業	2,400	5,400.00 12,960,000	6,220.00 14,928,000	2.48
9	オリエンタルランド	日本	株式	サービス業	2,300	6,402.00 14,724,600	6,312.00 14,517,600	2.41
10	楽天	日本	株式	サービス業	10,800	1,136.53 12,274,630	1,113.00 12,020,400	2.00
11	日本郵政	日本	株式	サービス業	5,500	1,445.00 7,947,500	1,441.00 7,925,500	1.32
12	ヤフー	日本	株式	情報・通信業	14,400	466.03 6,710,875	521.00 7,502,400	1.25

13	大日本印刷	日本	株式	その他製品	6,000	1,158.00 6,948,000	1,222.00 7,332,000	1.22
14	バンダイナムコHLDGS	日本	株式	その他製品	2,200	3,145.00 6,919,000	3,235.00 7,117,000	1.18
15	凸版印刷	日本	株式	その他製品	6,000	1,129.00 6,774,000	1,132.00 6,792,000	1.13
16	NTTデータ	日本	株式	情報・通信業	1,200	5,610.00 6,732,000	5,300.00 6,360,000	1.06
17	野村総合研究所	日本	株式	情報・通信業	1,500	3,585.00 5,377,500	3,880.00 5,820,000	0.97
18	トレンドマイクロ	日本	株式	情報・通信業	1,100	4,215.00 4,636,500	4,920.00 5,412,000	0.90
19	エムスリー	日本	株式	サービス業	1,800	3,035.00 5,463,000	2,850.00 5,130,000	0.85
20	ユー・エス・エス	日本	株式	サービス業	2,600	1,995.00 5,187,000	1,924.00 5,002,400	0.83
21	コナミホールディングス	日本	株式	情報・通信業	900	4,560.00 4,104,000	4,740.00 4,266,000	0.71
22	東宝	日本	株式	情報・通信業	1,300	3,245.00 4,218,500	3,180.00 4,134,000	0.69
23	ネクソン	日本	株式	情報・通信業	2,200	1,702.00 3,744,400	1,868.00 4,109,600	0.68
24	ヤマハ	日本	株式	その他製品	1,400	3,550.00 4,970,000	2,927.00 4,097,800	0.68
25	博報堂DYHLDGS	日本	株式	サービス業	2,900	1,410.00 4,089,000	1,381.00 4,004,900	0.66
26	ビジョン	日本	株式	その他製品	1,200	3,010.00 3,612,000	3,305.00 3,966,000	0.66
27	アシックス	日本	株式	その他製品	2,000	2,273.00 4,546,000	1,981.00 3,962,000	0.66
28	オービック	日本	株式	情報・通信業	700	5,050.00 3,535,000	5,230.00 3,661,000	0.61
29	日本テレビHLDGS	日本	株式	情報・通信業	1,800	2,097.00 3,774,600	1,998.00 3,596,400	0.60
30	サイバーエージェント	日本	株式	サービス業	1,100	2,976.00 3,273,600	3,125.00 3,437,500	0.57

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の時価の比率です。

#### ロ．投資有価証券の種類別投資比率

投資有価証券の種類	投資比率
株式	99.72%
合計	99.72%

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該有価証券の時価の比率です。

#### ハ．投資株式の業種別投資比率

業種	投資比率
その他製品	13.38%
情報・通信業	58.53%
サービス業	27.81%
合計	99.72%

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該業種の時価の比率です。

## 【投資不動産物件】

該当事項はありません。

## 【その他投資資産の主要なもの】

該当事項はありません。

## (3) 【運用実績】

## 【純資産の推移】

	純資産総額 (分配落) (円)	純資産総額 (分配付) (円)	1口当たりの 純資産額 (分配落)(円)	1口当たりの 純資産額 (分配付)(円)	東京証券取 引所 市場相場
第1計算期間末 (平成21年1月20日)	2,849,626,295	2,877,284,975	8,654	8,738	-
第2計算期間末 (平成21年7月20日)	2,829,466,124	2,866,673,634	8,593	8,706	-
第3計算期間末 (平成22年1月20日)	2,937,964,453	2,962,659,703	8,923	8,998	8,910
第4計算期間末 (平成22年7月20日)	2,768,456,654	2,805,664,164	8,408	8,521	8,340
第5計算期間末 (平成23年1月20日)	2,891,016,862	2,913,407,222	8,780	8,848	-
第6計算期間末 (平成23年7月20日)	1,372,186,194	1,388,838,882	8,570	8,674	-
第7計算期間末 (平成24年1月20日)	243,744,263	246,906,233	7,554	7,652	-
第8計算期間末 (平成24年7月20日)	252,534,468	256,244,943	7,827	7,942	-
第9計算期間末 (平成25年1月20日)	279,838,729	282,678,049	8,673	8,761	-
第10計算期間末 (平成25年7月20日)	408,016,871	411,856,406	12,646	12,765	12,570
第11計算期間末 (平成26年1月20日)	469,405,638	472,180,428	14,548	14,634	14,540
第12計算期間末 (平成26年7月20日)	459,119,275	463,055,605	14,230	14,352	14,140
第13計算期間末 (平成27年1月20日)	490,070,429	493,071,074	15,189	15,282	-
第14計算期間末 (平成27年7月20日)	599,138,020	603,590,590	18,569	18,707	-
第15計算期間末 (平成28年1月20日)	504,982,323	508,241,088	15,651	15,752	15,810
平成28年2月末日	530,705,003	-	16,448	-	-
3月末日	548,622,317	-	17,004	-	-
4月末日	554,759,979	-	17,194	-	-

5月末日	573,295,498	-	17,768	-	-
6月末日	537,758,819	-	16,667	-	-
第16計算期間末 (平成28年7月20日)	567,927,452	572,734,937	17,602	17,751	-
7月末日	549,582,054	-	17,033	-	16,700
8月末日	549,366,361	-	17,027	-	-
9月末日	563,441,160	-	17,463	-	-
10月末日	573,311,033	-	17,769	-	-
11月末日	577,725,445	-	17,906	-	17,880
12月末日	597,626,824	-	18,522	-	18,500
第17計算期間末 (平成29年1月20日)	607,077,615	610,981,680	18,815	18,936	18,780
平成29年1月末日	603,874,487	-	18,716	-	-
2月末日	602,474,835	-	18,673	-	-

(注) 計算期間末日が休業日の場合は、前営業日の市場相場を記載しております。

### 【分配の推移】

	1口当たり分配金(円)
第1計算期間	84
第2計算期間	113
第3計算期間	75
第4計算期間	113
第5計算期間	68
第6計算期間	104
第7計算期間	98
第8計算期間	115
第9計算期間	88
第10計算期間	119
第11計算期間	86
第12計算期間	122
第13計算期間	93
第14計算期間	138
第15計算期間	101
第16計算期間	149
第17計算期間	121

### 【収益率の推移】

	収益率(%)
第1計算期間	24.2
第2計算期間	0.6
第3計算期間	4.7
第4計算期間	4.5
第5計算期間	5.2
第6計算期間	1.2
第7計算期間	10.7
第8計算期間	5.1
第9計算期間	11.9
第10計算期間	47.2
第11計算期間	15.7



第12計算期間	1.3
第13計算期間	7.4
第14計算期間	23.2
第15計算期間	15.2
第16計算期間	13.4
第17計算期間	7.6

## (4) 【設定及び解約の実績】

	設定数量(口)	解約数量(口)
第1計算期間	0	0
第2計算期間	0	0
第3計算期間	0	0
第4計算期間	0	0
第5計算期間	0	0
第6計算期間	0	169,148
第7計算期間	0	127,857
第8計算期間	0	0
第9計算期間	0	0
第10計算期間	0	0
第11計算期間	0	0
第12計算期間	0	0
第13計算期間	0	0
第14計算期間	0	0
第15計算期間	0	0
第16計算期間	0	0
第17計算期間	0	0

(注) 当初設定数量は329,270口です。

[次へ](#)

2017年2月28日現在

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

## 基準価額・純資産の推移

基準価額	18,673円
純資産総額	6.0億円

## 基準価額の騰落率

期間	ファンド
1カ月間	-0.2%
3カ月間	5.0%
6カ月間	10.4%
1年間	15.2%
3年間	42.0%
5年間	151.1%
設定来	90.1%



※上記の「基準価額の騰落率」とは、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。

※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。  
※基準価額の計算において運用管理費用(信託報酬)は控除しています。

## 分配の推移(1口当たり、税引前)

直近1年間分配金合計額: 270円 設定来分配金合計額: 1,787円

決算期	第6期	第7期	第8期	第9期	第10期	第11期	第12期	第13期	第14期	第15期	第16期	第17期
	11年7月	12年1月	12年7月	13年1月	13年7月	14年1月	14年7月	15年1月	15年7月	16年1月	16年7月	17年1月
分配金	104円	98円	115円	88円	119円	86円	122円	93円	138円	101円	149円	121円

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

## 主要な資産の状況

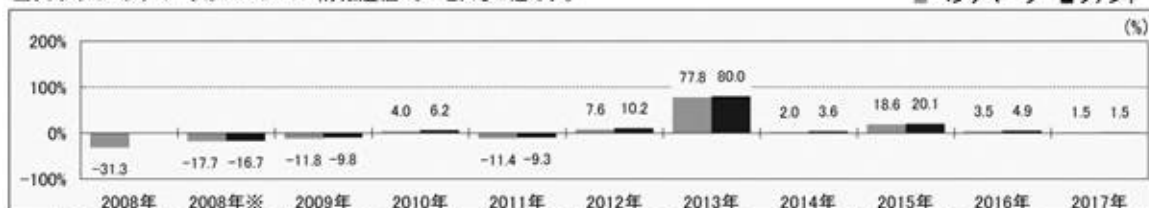
※比率は、純資産総額に対するものです。

資産別構成	銘柄数	比率	株式東証33業種別構成	比率	組入上位10銘柄	業種名	比率
国内株式	306	99.7%	情報・通信業	58.5%	日本電信電話	情報・通信業	12.7%
国内株式先物	-	-	サービス業	27.8%	ソフトバンクグループ	情報・通信業	12.5%
不動産投資信託等	-	-	その他製品	13.4%	KDDI	情報・通信業	9.7%
コール・ローン、その他		0.3%			NTTドコモ	情報・通信業	6.6%
合計	306	100.0%			任天堂	その他製品	5.1%
株式市場・上場別構成					リクルートホールディングス	サービス業	4.2%
一部(東証・名証)		99.7%			セコム	サービス業	3.0%
二部(東証・名証)		-			電通	サービス業	2.5%
新興市場他		-			オリエンタルランド	サービス業	2.4%
その他		-			楽天	サービス業	2.0%
合計		99.7%	合計	99.7%	合計		60.6%

## 年間収益率の推移

当ファンドのベンチマークはTOPIX-17 情報通信・サービスその他です。

■ ベンチマーク ■ ファンド



・ファンドの「年間収益率」は、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。ベンチマークの「年間収益率」は上記ベンチマークのデータに基づき当社が計算したものです。

・2008年※は設定日(7月22日)から年末、2017年は2月28日までの騰落率を表しています。  
・当該ベンチマークの情報はあくまで参考情報として記載しており、ファンドの運用実績を表したものではありません。

最新の運用実績は、委託会社のホームページ、または販売会社でご確認いただけます。

第3 【ファンドの経 理状況】 原有価証 券届出書の「第二部 ファンド情報 第3 ファンドの経理状況 1 財務諸表」を次の 内容に訂正・更新しま す。<訂正後>

(1) 当ファンドの財務諸表は、「財務 諸表等の用語、様式及び作成方法に 関する規則」(昭和38年大蔵省令第 59号)並びに同規則第2条の2の規定 により、「投資信託財産の計算に関 する規則」(平成12年総理府令第 133号)に基づいて作成してありま す。なお、財務諸表に記載している 金額は、円単位で表示しております。

(2) 当ファン ドの計算期 間は6か月で あるため、財 務諸表は6か 月毎に作成 してありま す。

(3) 当ファンドは、金融商 品取引法第193条の2第1 項の規定に基づき、第17 期計算期間(平成28年7 月21日から平成29年1月 20日まで)の財務諸表に ついて、有限責任 あずさ 監査法人により監査を受 けております。

1 財務諸表 ダイワ上場投信・TOPIX-17 情報通信・サービスその他

## 1【財務諸表】

ダイワ上場投信・TOPIX-17 情報通信・サービスその他

## (1)【貸借対照表】

(単位：円)

	第16期 平成28年7月20日現在	第17期 平成29年1月20日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産		
コール・ローン	2,481,513	1,617,820
株式	<sup>2</sup> 567,444,400	<sup>2</sup> 605,763,200
未収入金	3,083,974	3,643,601
未収配当金	405,416	601,598
流動資産合計	573,415,303	611,626,219
資産合計	573,415,303	611,626,219
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払収益分配金	4,807,485	3,904,065
未払受託者報酬	146,573	155,141
未払委託者報酬	381,136	403,441
その他未払費用	152,657	85,957
流動負債合計	5,487,851	4,548,604
負債合計	5,487,851	4,548,604
<b>純資産の部</b>		
元本等		
元本	<sup>1</sup> 372,015,450	<sup>1</sup> 372,015,450
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	195,912,002	235,062,165
（分配準備積立金）	433,091	602,018
元本等合計	567,927,452	607,077,615
純資産合計	567,927,452	607,077,615
負債純資産合計	573,415,303	611,626,219

## (2)【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	第16期		第17期	
	自	平成28年1月21日 至 平成28年7月20日	自	平成28年7月21日 至 平成29年1月20日
営業収益				
受取配当金		5,185,722		4,718,598
受取利息		153		-
有価証券売買等損益		63,416,119		38,509,916
派生商品取引等損益		239,630		471,320
その他収益		55		187
営業収益合計		68,362,419		43,700,021
営業費用				
支払利息		182		486
受託者報酬		146,573		155,141
委託者報酬		381,136		403,441
その他費用		81,914		86,725
営業費用合計		609,805		645,793
営業利益		67,752,614		43,054,228
経常利益		67,752,614		43,054,228
当期純利益		67,752,614		43,054,228
期首剰余金又は期首欠損金（ ）		132,966,873		195,912,002
分配金		1 4,807,485		1 3,904,065
期末剰余金又は期末欠損金（ ）		195,912,002		235,062,165

## (3) 【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区 分	第17期	
	自 平成28年7月21日	至 平成29年1月20日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	株式  移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、金融商品取引所における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。 なお、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額又は受託会社と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。	
2. デリバティブ取引の評価基準及び評価方法	先物取引  個別法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、原則として、計算日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場によっております。	
3. 収益及び費用の計上基準	受取配当金 原則として、株式の配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。	

(貸借対照表に関する注記)

区 分	第16期	第17期
	平成28年7月20日現在	平成29年1月20日現在
1. 1 期首元本額	372,015,450円	372,015,450円
期中追加設定元本額	- 円	- 円
期中一部交換元本額	- 円	- 円
2. 計算期間末日における受益権の総数	32,265口	32,265口

3. 2 差入委託証拠金代用有価証券		先物取引に係る差入委託証拠金代用有価証券として以下のとおり差入を行っております。 株式 1,865,200円
--------------------	--	---

## ( 損益及び剰余金計算書に関する注記 )

区 分	第16期 自 平成28年1月21日 至 平成28年7月20日	第17期 自 平成28年7月21日 至 平成29年1月20日
1 分配金の計算過程	当計算期間中に計上した受取配当金、配当株式、受取利息及びその他収益金から支払利息を控除した当期配当等収益額(5,185,748円)及び分配準備積立金(664,451円)の合計額から、経費(609,623円)を控除して計算される分配対象額は5,240,576円(1口当たり162円)であり、うち4,807,485円(1口当たり149円)を分配金額としております。	当計算期間中に計上した受取配当金、配当株式、受取利息及びその他収益金から支払利息を控除した当期配当等収益額(4,718,299円)及び分配準備積立金(433,091円)の合計額から、経費(645,307円)を控除して計算される分配対象額は4,506,083円(1口当たり139円)であり、うち3,904,065円(1口当たり121円)を分配金額としております。

## ( 金融商品に関する注記 )

## 金融商品の状況に関する事項

区 分	第17期 自 平成28年7月21日 至 平成29年1月20日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、投資信託約款に規定する「運用の基本方針」に従っております。

2. 金融商品の内容及びリスク	<p>当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、デリバティブ取引、金銭債権及び金銭債務等であり、その詳細をデリバティブ取引に関する注記及び附属明細表に記載しております。</p> <p>これらの金融商品に係るリスクは、市場リスク（価格変動等）、信用リスク、流動性リスクであります。</p> <p>信託財産の効率的な運用に資することを目的として、投資信託約款に従ってわが国の金融商品取引所（外国の取引所）における株価指数先物取引を利用しております。</p>
3. 金融商品に係るリスク管理体制	<p>複数の部署と会議体が連携する組織的な体制によりリスク管理を行っております。信託財産全体としてのリスク管理を金融商品、リスクの種類毎に行っております。</p>
4. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	<p>金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては、一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等に拠った場合、当該価額が異なることもあります。</p>

## 金融商品の時価等に関する事項

区 分	第17期 平成29年1月20日現在
1. 金融商品の時価及び貸借対照表計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 金融商品の時価の算定方法	<p>(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。</p> <p>(2)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。</p>

## （有価証券に関する注記）

## 売買目的有価証券

種 類	第16期 平成28年7月20日現在	第17期 平成29年1月20日現在
	当計算期間の損益に 含まれた評価差額（円）	当計算期間の損益に 含まれた評価差額（円）
株式	62,312,338	34,977,156
合計	62,312,338	34,977,156



（デリバティブ取引に関する注記）

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

第16期 平成28年7月20日現在	第17期 平成29年1月20日現在
該当事項はありません。	該当事項はありません。

（関連当事者との取引に関する注記）

第17期 自 平成28年7月21日 至 平成29年1月20日
市場価格その他当該取引に係る価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていないため、該当事項はありません。

（1口当たり情報）

	第16期 平成28年7月20日現在	第17期 平成29年1月20日現在
1口当たり純資産額	17,602円	18,815円

#### （4）【附属明細表】

##### 第1 有価証券明細表

###### （1）株式

銘柄	株式数	評価額（円）		備考
		単価	金額	
日本工営	100	2,517.00	251,700	
NEC ネットエスアイ	200	2,166.00	433,200	
ネクスト	500	805.00	402,500	
ジェイエイシーリクルートメント	100	1,343.00	134,300	
日本M&Aセンター	600	3,375.00	2,025,000	
アコーディア・ゴルフ	600	1,201.00	720,600	
タケエイ	200	1,030.00	206,000	
トラスト・テック	100	1,690.00	169,000	
コシダカホールディングス	100	2,210.00	221,000	
パソナグループ	200	758.00	151,600	
リンクアンドモチベーション	500	431.00	215,500	
GCA	200	816.00	163,200	
エス・エム・エス	300	2,734.00	820,200	
テンプホールディングス	1,600	1,934.00	3,094,400	

リニカル	100	1,260.00	126,000
クックパッド	500	1,046.00	523,000
エスクリ	100	613.00	61,300
アイ・ケイ・ケイ	100	697.00	69,700
学情	100	1,200.00	120,000
スタジオアリス	100	2,172.00	217,200
シミックホールディングス	100	1,550.00	155,000
システナ	200	1,735.00	347,000
デジタルアーツ	100	2,699.00	269,900
新日鉄住金SOL	300	2,044.00	613,200
総合警備保障	800	4,625.00	3,700,000
キューブシステム	100	685.00	68,500
コア	100	1,236.00	123,600
カカコム	1,500	1,970.00	2,955,000
アイロムグループ	100	1,325.00	132,500
ルネサンス	100	1,472.00	147,200
ディップ	300	2,244.00	673,200
オプトホールディング	200	713.00	142,600
新日本科学	200	566.00	113,200
ツクイ	500	795.00	397,500
エムスリー	1,800	3,035.00	5,463,000
ツカダ・グローバルHOLD	200	660.00	132,000
アウトソーシング	100	3,945.00	394,500
ウェルネット	200	1,278.00	255,600
ディー・エヌ・エー	900	2,651.00	2,385,900
博報堂DYHLDGS	2,900	1,410.00	4,089,000
ぐるなび	300	2,478.00	743,400
エスアールジータカミヤ	200	606.00	121,200
ジャパンベストレスキューS	300	241.00	72,300
ファンコミュニケーションズ	500	743.00	371,500
WDBホールディングス	100	1,311.00	131,100
ティア	100	631.00	63,100
バリューコマース	200	336.00	67,200
インフォマート	900	626.00	563,400
JPホールディングス	600	262.00	157,200
ソフトクリエイイトHD	100	1,358.00	135,800
TIS	700	2,460.00	1,722,000
ネオス	100	438.00	43,800
電算システム	100	1,688.00	168,800
グリー	1,200	630.00	756,000

コーエーテクモHD	500	1,951.00	975,500
三菱総合研究所	100	3,190.00	319,000
AGS	100	1,538.00	153,800
ファインデックス	100	921.00	92,100
KLab	400	638.00	255,200
ポールトゥウィン・ピットクル	100	1,050.00	105,000
ネクソン	2,200	1,702.00	3,744,400
アイスタイル	300	762.00	228,600
エムアップ	100	635.00	63,500
エイチーム	100	2,190.00	219,000
テクノスジャパン	200	1,269.00	253,800
enish	100	539.00	53,900
コロプラ	600	994.00	596,400
モバイルクリエイト	100	407.00	40,700
オルトプラス	100	700.00	70,000
ブロードリーフ	500	655.00	327,500
ハーツユナイテッドグループ	100	1,703.00	170,300
ブイキューブ	100	655.00	65,500
ディー・エル・イー	100	710.00	71,000
VOYAGE GROUP	100	1,111.00	111,100
ティーガイア	200	1,841.00	368,200
日本アジアグループ	200	434.00	86,800
豆蔵ホールディングス	100	990.00	99,000
テクマトリックス	100	1,976.00	197,600
ガンホー・オンライン・エンター	4,200	252.00	1,058,400
GMOペイメントゲートウェイ	200	5,230.00	1,046,000
ザッパラス	100	440.00	44,000
インターネットイニシアティブ	300	1,822.00	546,600
さくらインターネット	200	1,144.00	228,800
SRAホールディングス	100	2,582.00	258,200
朝日ネット	200	490.00	98,000
フリービット	100	943.00	94,300
gumi	200	992.00	198,400
LINE	300	4,025.00	1,207,500
AOI TYO HOLDINGS	100	861.00	86,100
EPSホールディングス	300	1,408.00	422,400
ソルクシーズ	100	545.00	54,500
プレステージ・インター	300	804.00	241,200
フェイス	100	1,294.00	129,400
アミューズ	100	1,816.00	181,600

野村総合研究所	1,500	3,585.00	5,377,500
ドリームインキュベータ	100	2,019.00	201,900
サイバネットシステム	200	634.00	126,800
クイック	100	1,054.00	105,400
T A C	100	227.00	22,700
ケネディクス	2,800	433.00	1,212,400
電通	2,400	5,400.00	12,960,000
インテージホールディングス	100	1,983.00	198,300
テイクアンドギヴニーズ	100	771.00	77,100
東邦システムサイエンス	100	657.00	65,700
びあ	100	2,818.00	281,800
イオンファンタジー	100	3,225.00	322,500
ソースネクスト	100	668.00	66,800
シーティーエス	100	1,305.00	130,500
ネクシィーズグループ	100	1,490.00	149,000
みらかホールディングス	500	5,240.00	2,620,000
アルプス技研	100	2,583.00	258,300
サニックス	300	185.00	55,500
日本空調サービス	200	624.00	124,800
オリエンタルランド	2,300	6,402.00	14,724,600
フォーカスシステムズ	100	560.00	56,000
ダスキン	500	2,356.00	1,178,000
明光ネットワークジャパン	300	1,209.00	362,700
ファルコホールディングス	100	1,492.00	149,200
フジ・メディア・HD	2,100	1,640.00	3,444,000
ラウンドワン	700	794.00	555,800
リゾートトラスト	800	2,116.00	1,692,800
オービック	700	5,050.00	3,535,000
ジャストシステム	300	1,162.00	348,600
T D C ソフトウェアエンジニア	100	1,148.00	114,800
ヤフー	14,300	466.00	6,663,800
ビー・エム・エル	300	2,760.00	828,000
トレンドマイクロ	1,100	4,215.00	4,636,500
りらいあコミュニケーション	400	1,196.00	478,400
インフォメーションディベロ	100	1,134.00	113,400
リソー教育	400	582.00	232,800
日本オラクル	300	6,070.00	1,821,000
アルファシステムズ	100	1,988.00	198,800
フューチャー	300	755.00	226,500
C A C H O L D I N G S	100	911.00	91,100

トーセ	100	824.00	82,400
ユー・エス・エス	2,600	1,995.00	5,187,000
オービックビジネスC	100	5,080.00	508,000
伊藤忠テクノソリュー	500	2,965.00	1,482,500
アイティフォー	300	612.00	183,600
東京個別指導学院	100	937.00	93,700
サイバーエージェント	1,100	2,976.00	3,273,600
楽天	10,800	1,136.50	12,274,200
クリーク・アンド・リバー社	100	928.00	92,800
テー・オー・ダブリュー	200	642.00	128,400
大塚商会	500	5,360.00	2,680,000
サイボウズ	300	446.00	133,800
ソフトブレーン	300	400.00	120,000
セントラルスポーツ	100	2,944.00	294,400
電通国際情報S	100	1,763.00	176,300
デジタルガレージ	300	2,016.00	604,800
イーエムシステムズ	100	1,661.00	166,100
ウェザーニューズ	100	3,510.00	351,000
C I J	200	517.00	103,400
日本エンタープライズ	200	272.00	54,400
WOWOW	100	3,390.00	339,000
スカラ	100	789.00	78,900
フルキャストホールディングス	200	956.00	191,200
テクノプロ・ホールディング	300	3,745.00	1,123,500
イー・ガーディアン	100	1,758.00	175,800
リブセンス	100	445.00	44,500
ジャパンマテリアル	200	1,729.00	345,800
ベクトル	200	1,115.00	223,000
ウチヤマホールディングス	100	437.00	43,700
I B J	200	640.00	128,000
アサンテ	100	1,725.00	172,500
N・フィールド	100	1,406.00	140,600
ライドオン・エクスプレス	100	837.00	83,700
E R Iホールディングス	100	801.00	80,100
ウィルグループ	100	720.00	72,000
リクルートホールディングス	4,600	5,000.00	23,000,000
日本郵政	5,500	1,445.00	7,947,500
ベルシステム24HLDGS	300	1,024.00	307,200
ソラスト	100	1,321.00	132,100
日本コロムビア	100	618.00	61,800

イマジカ・ロボットHD	200	697.00	139,400
ネットワンシステムズ	900	733.00	659,700
システムソフト	400	161.00	64,400
アルゴグラフィックス	100	2,262.00	226,200
パラマウントベッドHD	200	4,450.00	890,000
SHOBI	100	421.00	42,100
ニホンフラッシュ	100	1,315.00	131,500
前田工織	200	1,303.00	260,600
アートネイチャー	200	716.00	143,200
ダンロップスポーツ	100	1,071.00	107,100
バンダイナムコHLDGS	2,200	3,145.00	6,919,000
共立印刷	300	329.00	98,700
SHOEI	100	2,185.00	218,500
フランスベッドHLDGS	300	948.00	284,400
マーベラス	300	790.00	237,000
パイロットコーポレーション	400	4,705.00	1,882,000
萩原工業	100	2,651.00	265,100
エイベックス・グループHD	400	1,702.00	680,800
トッパン・フォームズ	400	1,190.00	476,000
フジシールインターナショナル	500	2,444.00	1,222,000
タカラトミー	800	1,211.00	968,800
廣濟堂	200	401.00	80,200
AS-MEエステール	100	697.00	69,700
アーケ	900	127.00	114,300
タカノ	100	903.00	90,300
プロネクサス	200	1,087.00	217,400
ホクシン	100	215.00	21,500
大建工業	100	2,161.00	216,100
凸版印刷	6,000	1,129.00	6,774,000
大日本印刷	6,000	1,158.00	6,948,000
共同印刷	1,000	399.00	399,000
日本写真印刷	300	3,115.00	934,500
宝印刷	100	1,501.00	150,100
アシックス	2,000	2,273.00	4,546,000
ツツミ	100	2,009.00	200,900
小松ウオール工業	100	1,939.00	193,900
ヤマハ	1,400	3,550.00	4,970,000
河合楽器	100	2,269.00	226,900
クリナップ	200	892.00	178,400
ピジヨン	1,200	3,010.00	3,612,000

キングジム	200	849.00	169,800
リンテック	500	2,522.00	1,261,000
T A S A K I	100	1,578.00	157,800
イトーキ	400	721.00	288,400
任 天 堂	1,300	23,630.00	30,719,000
三菱鉛筆	200	6,140.00	1,228,000
タカラスタンダ - ド	400	1,947.00	778,800
コ ク ヨ	1,100	1,384.00	1,522,400
グロープライド	100	1,907.00	190,700
岡村製作所	700	1,036.00	725,200
美 津 濃	1,000	582.00	582,000
日本ユニシス	600	1,428.00	856,800
兼松エレクトロニクス	100	2,586.00	258,600
アデランス	100	618.00	61,800
リログループ	100	15,990.00	1,599,000
東京放送HD	1,300	1,952.00	2,537,600
日本テレビH L D S	1,800	2,097.00	3,774,600
朝日放送	200	743.00	148,600
テレビ朝日HD	500	2,259.00	1,129,500
スカパー J S A T H D	1,300	518.00	673,400
テレビ東京HD	200	2,307.00	461,400
U - N E X T	100	682.00	68,200
ワイヤレスゲート	100	1,759.00	175,900
コネクシオ	200	1,495.00	299,000
日本通信	1,700	169.00	287,300
日本電信電話	16,100	5,101.00	82,126,100
K D D I	19,800	3,079.00	60,964,200
光通信	200	10,580.00	2,116,000
N T T ドコモ	15,000	2,755.00	41,325,000
エムティーアイ	300	715.00	214,500
GMOインターネット	700	1,617.00	1,131,900
カドカワ	600	1,752.00	1,051,200
学研ホールディングス	1,000	317.00	317,000
ゼンリン	300	2,227.00	668,100
昭文社	100	698.00	69,800
インプレスホールディングス	200	145.00	29,000
アイネット	100	1,130.00	113,000
松 竹	1,000	1,425.00	1,425,000
東 宝	1,300	3,245.00	4,218,500
エイチ・アイ・エス	300	3,000.00	900,000

東映	1,000	999.00	999,000
NTTデータ	1,200	5,610.00	6,732,000
共立メンテナンス	200	7,380.00	1,476,000
イチネンホールディングス	200	1,145.00	229,000
建設技術研究所	100	1,046.00	104,600
スペース	100	1,226.00	122,600
東京テアトル	1,000	166.00	166,000
東京都競馬	1,000	270.00	270,000
常磐興産	100	1,606.00	160,600
カナモト	300	3,080.00	924,000
東京ドーム	800	1,109.00	887,200
DTS	200	2,499.00	499,800
スクウェア・エニックス・HD	800	3,195.00	2,556,000
シーイーシー	100	1,817.00	181,700
カプコン	500	2,590.00	1,295,000
西尾レントオール	200	3,435.00	687,000
アゴーラ・ホスピタリティーG	1,000	39.00	39,000
トランス・コスモス	200	2,824.00	564,800
乃村工藝社	500	1,908.00	954,000
ジャステック	100	1,089.00	108,900
SCSK	500	4,070.00	2,035,000
藤田観光	1,000	352.00	352,000
KNT-CTホールディングス	1,000	145.00	145,000
日本管財	200	1,754.00	350,800
トーカイ	100	4,080.00	408,000
セコム	2,200	8,367.00	18,407,400
日本システムウエア	100	1,517.00	151,700
セントラル警備保障	100	1,980.00	198,000
アイネス	300	1,221.00	366,300
丹青社	400	857.00	342,800
メイテック	300	4,405.00	1,321,500
TKC	200	3,390.00	678,000
アサツー ディ・ケイ	300	2,984.00	895,200
富士ソフト	300	2,809.00	842,700
応用地質	200	1,409.00	281,800
船井総研ホールディング	300	1,757.00	527,100
NSD	400	1,817.00	726,800
進学会	100	570.00	57,000
オオバ	200	462.00	92,400
コナミホールディングス	900	4,560.00	4,104,000



学 究 社	100	1,488.00	148,800	
ベネッセホールディングス	700	3,210.00	2,247,000	
イオンディライト	200	3,225.00	645,000	
ナック	100	968.00	96,800	
福井コンピュータH L D S	100	3,015.00	301,500	
ニチイ学館	400	844.00	337,600	
ダイセキ	400	2,231.00	892,400	
ステップ	100	1,368.00	136,800	
J B C Cホールディングス	200	795.00	159,000	
ミロク情報サービス	100	1,698.00	169,800	
ソフトバンクグループ	9,000	8,450.00	76,050,000	
合計			605,763,200	

(注) 先物取引に係る差入委託証拠金代用有価証券として以下の有価証券が差し入れられておりません。

日本電信電話

200株

ソフトバンクグループ

100株

(2) 株式以外の有価証券

該当事項はありません。

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

## 2 【ファンドの現況】

原有価証券届出書の「第二部 ファンド情報 第3 ファンドの経理状況 2 ファンドの現況」を次の内容に訂正・更新します。

<訂正後>

## 【純資産額計算書】

平成29年2月28日

資産総額	602,796,413円
負債総額	321,578円
純資産総額（ - ）	602,474,835円
発行済数量	32,265口
1 単位当たり純資産額（ / ）	18,673円

## 第三部 【委託会社等の情報】

### 第1 【委託会社等の概況】

原有価証券届出書の「第三部 委託会社等の情報 第1 委託会社等の概況 1 委託会社等の概況 および2 事業の内容及び営業の概況」を次の内容に訂正・更新します。

<訂正後>

#### 1 【委託会社等の概況】

##### a. 資本金の額

平成29年2月末日現在

資本金の額 151億7,427万2,500円

発行可能株式総数 799万9,980株

発行済株式総数 260万8,525株

過去5年間ににおける資本金の額の増減：該当事項はありません。

##### b. 委託会社の機構

会社の意思決定機構

業務執行上重要な事項は、取締役会の決議をもって決定します。取締役は、株主総会において選任され、その任期は選任後1年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時株主総会の終結のときまでです。

取締役会は、4名以内の代表取締役を選定し、代表取締役は、会社を代表し、取締役会の決議にしたがい業務を執行します。

また、取締役、役付執行役員等から構成される経営会議は、経営全般にかかる基本的事項を審議し、決定します。経営会議は、分科会を設置し、専門的な事項についてはその権限を委ねることができます。

投資運用の意思決定機構

投資運用の意思決定機構の概要は、以下のとおりとなっています。

##### イ. ファンド個別会議

ファンド運営上の諸方針を記載した基本計画書を経営会議の分科会であるファンド個別会議において審議・決定します。

##### ロ. 投資環境検討会

運用最高責任者であるCIO (Chief Investment Officer) が議長となり、原則として月1回投資環境検討会を開催し、投資環境について検討します。

##### ハ. 運用会議

CIOが議長となり、原則として月1回運用会議を開催し、基本的な運用方針を決定します。

##### ニ. 運用部長・ファンドマネージャー

ファンドマネージャーは、基本計画書に定められた各ファンドの諸方針と運用会議で決定された基本的な運用方針にしたがって運用計画書を作成します。運用部長は、ファンドマネージャーから提示を受けた運用計画書について、基本計画書および運用会議の決定事項との整合性等を確認し、承認します。

ホ．ファンド評価会議、運用審査会議、リスクマネジメント会議および執行役員会議

・ファンド評価会議

運用実績・運用リスクの状況について、分析・検討を行ない、運用部にフィードバックします。

・運用審査会議

経営会議の分科会として、ファンドの運用実績の状況についての報告を行ない、必要事項を審議・決定します。

・リスクマネジメント会議

経営会議の分科会として、ファンドの運用リスクの状況・運用リスク管理等の状況についての報告を行ない、必要事項を審議・決定します。

・執行役員会議

経営会議の分科会として、法令等の遵守状況についての報告を行ない、必要事項を審議・決定します。

## 2 【事業の内容及び営業の概況】

委託会社は、「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社として、証券投資信託の設定を行なうとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）を行なっています。また「金融商品取引法」に定める投資助言業務等の関連する業務を行なっています。

平成29年2月末日現在、委託会社が運用を行なっている投資信託（親投資信託を除きます。）は次のとおりです。

基本的性格	本数（本）	純資産額の合計額（百万円）
単位型株式投資信託	73	225,408
追加型株式投資信託	683	13,096,201
株式投資信託 合計	756	13,321,609
単位型公社債投資信託	15	102,779
追加型公社債投資信託	14	2,158,039
公社債投資信託 合計	29	2,260,819
総合計	785	15,582,427

## 3 【委託会社等の経理状況】

原有価証券届出書の「第三部 委託会社等の情報 第1 委託会社等の概況 3 委託会社等の経理状況」を次の内容に訂正・更新します。

<訂正後>

1．当社の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号。以下「財務諸表等規則」という。）並びに同規則第2条の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年8月6日内閣府令第52号）に基づいて作成しております。

また、当社の中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和52年大蔵省令第38号。以下「中間財務諸表等規則」という。）並びに同規則第38条及び第57条の規定により、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年8月6日内閣府令第52号）に基づいて作成しております。

2．当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第57期事業年度（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）の財務諸表についての監査を、有限責任 あずさ監査法人により受けております。

また、第58期事業年度に係る中間会計期間（平成28年4月1日から平成28年9月30日まで）の中間財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により中間監査を受けております。

3．財務諸表及び中間財務諸表の記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

## (1) 【貸借対照表】

（単位:百万円）

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当事業年度 (平成28年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金・預金	31,438	31,715
有価証券	4,878	1,137
前払費用	139	159
未収委託者報酬	10,295	9,896
未収収益	110	87
繰延税金資産	585	468
その他	153	83
流動資産計	47,600	43,547
固定資産		
有形固定資産	1	243
建物	21	18

器具備品	234	224
無形固定資産	2,759	2,706
ソフトウェア	2,758	2,385
ソフトウェア仮勘定	1	321
投資その他の資産	12,979	14,223
投資有価証券	6,667	7,872
関係会社株式	5,129	5,129
出資金	124	123
長期差入保証金	996	1,049
その他	60	47
固定資産計	15,995	17,173
資産合計	63,596	60,720

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当事業年度 (平成28年3月31日)
負債の部		
流動負債		
預り金	64	61
未払金	9,172	8,789
未払収益分配金	5	5
未払償還金	72	63
未払手数料	4,965	4,330
その他未払金	2 4,127	2 4,390
未払費用	4,162	4,215
未払法人税等	1,133	1,155
未払消費税等	1,429	538
賞与引当金	1,092	937
その他	747	22
流動負債計	17,801	15,720
固定負債		
退職給付引当金	2,072	2,209
役員退職慰労引当金	101	93
繰延税金負債	1,745	1,410
その他	2	-
固定負債計	3,920	3,714
負債合計	21,722	19,435

純資産の部		
株主資本		
資本金	15,174	15,174
資本剰余金		
資本準備金	11,495	11,495
資本剰余金合計	11,495	11,495
利益剰余金		
利益準備金	374	374
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	14,126	13,960
利益剰余金合計	14,501	14,334
株主資本合計	41,171	41,004
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	702	280
評価・換算差額等合計	702	280
純資産合計	41,873	41,284
負債・純資産合計	63,596	60,720

## (2) 【損益計算書】

(単位:百万円)

	前事業年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)	当事業年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)
営業収益		
委託者報酬	90,924	88,850
その他営業収益	933	799
営業収益計	91,858	89,650
営業費用		
支払手数料	49,978	46,165
広告宣伝費	670	646
調査費	9,013	10,116
調査費	867	925
委託調査費	8,146	9,191
委託計算費	756	761
営業雑経費	1,289	1,346
通信費	252	249
印刷費	481	515
協会費	53	53
諸会費	13	14

その他営業雑経費	488	513
営業費用計	61,709	59,036
一般管理費		
給料	5,881	5,797
役員報酬	289	354
給料・手当	3,803	3,850
賞与	695	654
賞与引当金繰入額	1,092	937
福利厚生費	831	837
交際費	45	70
旅費交通費	176	211
租税公課	259	325
不動産賃借料	1,180	1,258
退職給付費用	383	394
役員退職慰労引当金繰入額	38	37
固定資産減価償却費	1,032	1,110
諸経費	1,372	1,486
一般管理費計	11,201	11,531
営業利益	18,948	19,082

(単位:百万円)

	前事業年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)		当事業年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)	
営業外収益				
受取配当金	1	1,226	1	109
受取利息		20		25
投資有価証券売却益		145		115
外国税関連費用引当金戻入益		-		171
その他		226		73
営業外収益計		1,620		496
営業外費用				
投資有価証券売却損		84		14
その他		67		94
営業外費用計		152		108
経常利益		20,416		19,471
特別利益				
固定資産売却益		7		-
特別利益計		7		-
特別損失				
外国税関連費用		746		-



その他	26	-
特別損失計	772	-
税引前当期純利益	19,651	19,471
法人税、住民税及び事業税	6,238	6,215
法人税等調整額	17	6
法人税等合計	6,220	6,209
当期純利益	13,431	13,262

## (3) 【株主資本等変動計算書】

前事業年度（自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本					株主資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金			
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計	
当期首残高	15,174	11,495	374	10,821	11,196	37,866
当期変動額						
剰余金の配当	-	-	-	△10,126	△10,126	△10,126
当期純利益	-	-	-	13,431	13,431	13,431
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	-	-	-	-	-	-
当期変動額合計	-	-	-	3,304	3,304	3,304
当期末残高	15,174	11,495	374	14,126	14,501	41,171

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	494	494	38,360
当期変動額			
剰余金の配当	-	-	△10,126
当期純利益	-	-	13,431
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	208	208	208
当期変動額合計	208	208	3,513
当期末残高	702	702	41,873

当事業年度（自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日）

	株主資本					
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本合計
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金	利益剰余金合計	
				繰越利益剰余金		
当期首残高	15,174	11,495	374	14,126	14,501	41,171
当期変動額						
剰余金の配当	-	-	-	△13,428	△13,428	△13,428
当期純利益	-	-	-	13,262	13,262	13,262
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	-	-	-	-	-	-
当期変動額合計	-	-	-	△166	△166	△166
当期末残高	15,174	11,495	374	13,960	14,334	41,004

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	702	702	41,873
当期変動額			
剰余金の配当	-	-	△13,428
当期純利益	-	-	13,262
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△422	△422	△422
当期変動額合計	△422	△422	△589
当期末残高	280	280	41,284

## 注記事項

(重要な会計方針)

## 1. 有価証券の評価基準及び評価方法

## (1) 子会社株式

移動平均法による原価法により計上しております。

## (2) その他有価証券

時価のあるもの

決算日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)を採用しております。

時価のないもの

移動平均法による原価法を採用しております。

## 2. 固定資産の減価償却の方法

## (1) 有形固定資産

定額法によっております。

なお、主な耐用年数は以下の通りであります。

建物	10～18年
器具備品	4～20年

## (2) 無形固定資産

定額法によっております。なお、自社利用のソフトウェアについては社内における利用可能期間（5年間）に基づく定額法によっております。

## 3. 引当金の計上基準

### (1) 賞与引当金

役員及び従業員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額を計上しております。

### (2) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当社の退職金規程に基づく当事業年度末要支給額を計上しております。これは、当社の退職金は、将来の昇給等による給付額の変動がなく、貢献度、能力及び実績等に応じて各事業年度毎に各人別の勤務費用が確定するためであります。また、執行役員・参与についても、当社の退職金規程に基づく当事業年度末要支給額を計上しております。

### (3) 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、当社の役員退職慰労金規程に基づく当事業年度末要支給額を計上しております。

## 4. 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。

## 5. 連結納税制度の適用

連結納税制度を適用しております。

## (表示方法の変更)

### (損益計算書)

前事業年度において、「営業外収益」の「その他」に含めておりました「投資有価証券売却益」は、営業外収益の総額の100分の10を超えたため、当事業年度より独立掲記することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前事業年度の財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前事業年度の財務諸表において、「営業外収益」の「その他」に表示していた372百万円は、「投資有価証券売却益」145百万円、「その他」226百万円として組替えております。

## (貸借対照表関係)

### 1 有形固定資産の減価償却累計額

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当事業年度 (平成28年3月31日)
建物	20百万円	23百万円
器具備品	275百万円	232百万円

## 2 関係会社項目

関係会社に対する資産及び負債には区分掲記されたもののほか次のものがあります。

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当事業年度 (平成28年3月31日)
未払金	4,084百万円	4,320百万円

## 3 保証債務

前事業年度（平成27年3月31日）

子会社であるDaiwa Asset Management(Singapore)Ltd.の債務1,834百万円に対して保証を行っております。

当事業年度（平成28年3月31日）

子会社であるDaiwa Asset Management(Singapore)Ltd.の債務1,749百万円に対して保証を行っております。

## (損益計算書関係)

## 1 関係会社項目

関係会社に対する営業外収益には次のものがあります。

	前事業年度 (自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)	当事業年度 (自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)
受取配当金	1,065百万円	-

## (株主資本等変動計算書関係)

前事業年度（自平成26年4月1日至平成27年3月31日）

## 1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

(単位：千株)

	当事業年度期首 株式数	当事業年度 増加株式数	当事業年度 減少株式数	当事業年度末 株式数
発行済株式				
普通株式	2,608	-	-	2,608
合計	2,608	-	-	2,608

## 2. 配当に関する事項

## (1) 配当金支払額

決議	株式の種類	剰余金の配当の 総額（百万円）	1株当たり 配当額（円）	基準日	効力発生日

平成26年6月25日 定時株主総会	普通株式	10,126	3,882	平成26年 3月31日	平成26年 6月26日
----------------------	------	--------	-------	----------------	----------------

## (2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

平成27年6月23日開催の定時株主総会の議案として、普通株式の配当に関する事項を次のとおり提案しております。

剰余金の配当の総額	13,428百万円
配当の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	5,148円
基準日	平成27年3月31日
効力発生日	平成27年6月24日

当事業年度(自平成27年4月1日至平成28年3月31日)

## 1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

(単位:千株)

	当事業年度期首 株式数	当事業年度 増加株式数	当事業年度 減少株式数	当事業年度末 株式数
発行済株式				
普通株式	2,608	-	-	2,608
合計	2,608	-	-	2,608

## 2. 配当に関する事項

## (1) 配当金支払額

決議	株式の種類	剰余金の配当の 総額(百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成27年6月23日 定時株主総会	普通株式	13,428	5,148	平成27年 3月31日	平成27年 6月24日

## (2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

平成28年6月23日開催の定時株主総会の議案として、普通株式の配当に関する事項を次のとおり提案しております。

剰余金の配当の総額	13,262百万円
配当の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	5,084円
基準日	平成28年3月31日
効力発生日	平成28年6月24日

## (金融商品関係)

## 1. 金融商品の状況に関する事項

## (1) 金融商品に対する取組方針

当社は、投資運用業及び投資助言・代理業などの資産運用に関する事業を行っております。資金運用については安全性の高い金融商品に限定しております。

## (2) 金融商品の内容及びそのリスク

証券投資信託に係る運用報酬の未決済額である未収委託者報酬は、運用するファンドの財産が信託されており、「投資信託及び投資法人に関する法律」、その他関係法令等により一定の制限が設けられているためリスクは極めて軽微であります。有価証券及び投資有価証券は、証券投資信託、株式であります。証券投資信託は余資運用及び事業推進目的で保有しており、価格変動リスク及び為替変動リスクに晒されており、株式は上場株式、非上場株式並びに子会社株式を保有しており、上場株式は価格変動リスク及び発行体の信用リスクに、非上場株式及び子会社株式は発行体の信用リスクに晒されており、

未払手数料は証券投資信託の販売に係る手数料の未払額であります。その他未払金は主に連結納税の親会社へ支払う法人税の未払額であります。未払費用は主にファンド運用に係る業務を委託したこと等により発生する費用の未払額であります。これらは、そのほとんどが1年以内の支払期日であります。

## (3) 金融商品に係るリスク管理体制

## 市場リスクの管理

## ( ) 為替変動リスクの管理

当社は、財務リスク管理規程に従い、個別の案件ごとに為替変動リスク管理の検討を行っております。

## ( ) 価格変動リスクの管理

当社は、財務リスク管理規程に従い、個別の案件ごとに価格変動リスク管理の検討を行っており、定期的に時価や発行体の財務状況等を把握しリスクマネジメント会議において報告を行っております。

## 信用リスクの管理

発行体の信用リスクは財務リスク管理規程に従い、定期的に財務状況等を把握しリスクマネジメント会議において報告を行っております。

## 2. 金融商品の時価等に関する事項

貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含めておりません（（注2）参照のこと）。

前事業年度（平成27年3月31日）

（単位：百万円）

	貸借対照表 計上額	時価	差額
(1) 現金・預金	31,438	31,438	-
(2) 未収委託者報酬	10,295	10,295	-
(3) 有価証券及び投資有価証券 その他有価証券	10,520	10,520	-
資産計	52,254	52,254	-
(1) 未払手数料	4,965	4,965	-
(2) その他未払金	4,127	4,127	-
(3) 未払費用(*)	3,366	3,366	-
負債計	12,460	12,460	-

(\*) 未払費用のうち金融商品で時価開示の対象となるものを表示しております。

当事業年度（平成28年3月31日）

（単位：百万円）

	貸借対照表 計上額	時価	差額
(1) 現金・預金	31,715	31,715	-
(2) 未収委託者報酬	9,896	9,896	-
(3) 有価証券及び投資有価証券 その他有価証券	7,987	7,987	-
資産計	49,599	49,599	-
(1) 未払手数料	4,330	4,330	-
(2) その他未払金	4,390	4,390	-
(3) 未払費用(*)	3,420	3,420	-
負債計	12,141	12,141	-

(\*) 未払費用のうち金融商品で時価開示の対象となるものを表示しております。

(注1) 金融商品の時価の算定方法

資 産

(1) 現金・預金、並びに(2) 未収委託者報酬

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(3) 有価証券及び投資有価証券

これらの時価について、株式は取引所の価格によっております。また、証券投資信託については、基準価額によっております。また、保有目的ごとの有価証券に関する事項については、注記事項（有価証券関係）をご参照下さい。

負 債

(1) 未払手数料、(2) その他未払金、並びに(3) 未払費用

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(注2) 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

（単位：百万円）

区分	前事業年度 (平成27年3月31日)	当事業年度 (平成28年3月31日)
(1) その他有価証券 非上場株式	1,025	1,021
(2) 子会社株式及び関連会社株式 非上場株式	5,129	5,129
(3) 長期差入保証金	996	1,049

これらは、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積ることなどができず、時価を把握することが極めて困難と認められるものであるため、時価開示の対象としておりません。

(注3) 金銭債権及び満期がある有価証券の決算日後の償還予定額

前事業年度（平成27年3月31日）

（単位：百万円）

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
現金・預金	31,438	-	-	-
未収委託者報酬	10,295	-	-	-
有価証券及び投資有価証券 その他有価証券のうち満期があるもの	6	1,591	3,790	84
合計	41,740	1,591	3,790	84

当事業年度（平成28年3月31日）

（単位：百万円）

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
現金・預金	31,715	-	-	-
未収委託者報酬	9,896	-	-	-
有価証券及び投資有価証券 その他有価証券のうち満期があるもの	1,115	4,570	1,712	141
合計	42,727	4,570	1,712	141

（有価証券関係）

## 1．子会社株式及び関連会社株式

前事業年度（平成27年3月31日）

子会社株式（貸借対照表計上額 5,129百万円）は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、記載しておりません。

当事業年度（平成28年3月31日）

子会社株式（貸借対照表計上額 5,129百万円）は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、記載しておりません。

## 2．その他有価証券

前事業年度（平成27年3月31日）

	貸借対照表計上額 （百万円）	取得原価 （百万円）	差額 （百万円）
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの			
（1）株式	164	55	109
（2）その他 証券投資信託	4,576	3,633	943
小計	4,741	3,688	1,052
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの			



その他 証券投資信託	5,779	5,793	14
小計	5,779	5,793	14
合計	10,520	9,482	1,038

（注）非上場株式（貸借対照表計上額 1,025百万円）については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

当事業年度（平成28年3月31日）

	貸借対照表計上額 （百万円）	取得原価 （百万円）	差額 （百万円）
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの			
（1）株式	141	55	86
（2）その他 証券投資信託	3,875	3,408	466
小計	4,016	3,463	553
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの			
その他 証券投資信託	3,970	4,119	148
小計	3,970	4,119	148
合計	7,987	7,583	404

（注）非上場株式（貸借対照表計上額 1,021百万円）については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

### 3．売却したその他有価証券

前事業年度（自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日）

種類	売却額 （百万円）	売却益の合計額 （百万円）	売却損の合計額 （百万円）
（1）株式	32	-	1
（2）その他 証券投資信託	34,371	145	84
合計	34,404	145	85

当事業年度（自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日）

種類	売却額 （百万円）	売却益の合計額 （百万円）	売却損の合計額 （百万円）
（1）株式	3	-	0
（2）その他 証券投資信託	19,069	115	13
合計	19,072	115	14

### 4．減損処理を行った有価証券

前事業年度において、子会社株式について11百万円の減損処理を行っております。

当事業年度において、証券投資信託について4百万円の減損処理を行っております。

## (退職給付関係)

### 1. 採用している退職給付制度の概要

当社は、非積立型の確定給付制度(退職一時金制度であります)及び確定拠出制度を採用していません。

### 2. 確定給付制度

#### (1)退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

	前事業年度 (自 平成26年 4月 1日 至 平成27年 3月31日)	当事業年度 (自 平成27年 4月 1日 至 平成28年 3月31日)
退職給付債務の期首残高	1,959百万円	2,072百万円
勤務費用	212	222
退職給付の支払額	118	120
その他	18	35
退職給付債務の期末残高	2,072	2,209

#### (2)退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金の調整表

	前事業年度 (自 平成26年 4月 1日 至 平成27年 3月31日)	当事業年度 (自 平成27年 4月 1日 至 平成28年 3月31日)
非積立型制度の退職給付債務	2,072百万円	2,209百万円
貸借対照表に計上された負債と 資産の純額	2,072	2,209
退職給付引当金	2,072	2,209
貸借対照表に計上された負債と 資産の純額	2,072	2,209

#### (3)退職給付費用及びその内訳項目の金額

	前事業年度 (自 平成26年 4月 1日 至 平成27年 3月31日)	当事業年度 (自 平成27年 4月 1日 至 平成28年 3月31日)
勤務費用	212百万円	222百万円
確定給付制度に係る退職給付費用	212	222

### 3. 確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、前事業年度170百万円、当事業年度172百万円であります。

(税効果会計関係)

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別内訳

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当事業年度 (平成28年3月31日)
繰延税金資産		
退職給付引当金	670	676
賞与引当金	305	225
外国税関連費用	241	-
未払事業税	231	224
連結法人間取引(譲渡損)	128	121
投資有価証券評価損	105	95
出資金評価損	103	98
その他	206	173
繰延税金資産小計	1,992	1,615
評価性引当額	613	347
繰延税金資産合計	1,379	1,268
繰延税金負債		
連結法人間取引(譲渡益)	2,203	2,086
その他有価証券評価差額金	335	124
繰延税金負債合計	2,539	2,210
繰延税金負債の純額	1,159	941

2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主要な項目別の内訳

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当事業年度 (平成28年3月31日)
法定実効税率	35.64%	33.06%
(調整)		
交際費等永久に損金に算入されない項目	1.14%	0.77%
受取配当金等永久に益金に算入されない項目	2.02%	0.02%
評価性引当額の増減額	2.67%	1.29%
税率変更による期末繰延税金資産の減額修正	0.51%	0.19%
その他	0.07%	0.43%
税効果会計適用後の法人税等の負担率	31.65%	31.89%

### 3. 法人税等の税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正

「所得税法等の一部を改正する法律」（平成28年法律第15号）及び「地方税法等の一部を改正する等の法律」（平成28年法律第13号）が平成28年3月29日に国会で成立し、平成28年4月1日以後に開始する事業年度から法人税率等の引下げ等が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の32.34%から平成28年4月1日に開始する事業年度及び平成29年4月1日に開始する事業年度に解消が見込まれる一時差異については30.86%に、平成30年4月1日に開始する事業年度以降に解消が見込まれる一時差異については30.62%となります。

この税率変更により、繰延税金資産（流動）が24百万円、繰延税金負債（長期）が74百万円、法人税等調整額が50百万円、それぞれ減少し、その他有価証券評価差額金が6百万円増加しております。

（セグメント情報等）

#### [セグメント情報]

当社は、資産運用に関する事業の単一セグメントであるため記載を省略しております。

#### [関連情報]

##### 1. サービスごとの情報

単一のサービス区分の営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

##### 2. 地域ごとの情報

###### （1）営業収益

内国籍証券投資信託又は本邦顧客からの営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

###### （2）有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

##### 3. 主要な顧客ごとの情報

営業収益のうち、損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

#### [報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報]

前事業年度（自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日）

該当事項はありません。

当事業年度（自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日）

該当事項はありません。

#### [報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報]

該当事項はありません。

#### [報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報]

該当事項はありません。

## （関連当事者情報）

## 1．関連当事者との取引

## （ア）財務諸表提出会社の子会社

前事業年度（自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日）

種類	会社等の名称	所在地	資本金又は出資金 (百万円)	事業の内容	議決権等の所有 (被所有) 割合 (%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
子会社	Daiwa Asset Management (Singapore) Ltd.	Singapore	133	金融商品取引業	(所有) 直接100.0	経営管理	債務保証 (注)	1,834	-	-

## 取引条件及び取引条件の決定方針等

(注) シンガポール通貨庁(MAS)に対する当社からの保証状により、当該関連当事者の債務不履行等に関するMASへの損害等に対して保証しております。なお、債務総額は当該関連当事者の総運用資産額に応じて保証状にて定められております。

当事業年度（自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日）

種類	会社等の名称	所在地	資本金又は出資金 (百万円)	事業の内容	議決権等の所有 (被所有) 割合 (%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
子会社	Daiwa Asset Management (Singapore) Ltd.	Singapore	133	金融商品取引業	(所有) 直接100.0	経営管理	債務保証 (注)	1,749	-	-

## 取引条件及び取引条件の決定方針等

(注) シンガポール通貨庁(MAS)に対する当社からの保証状により、当該関連当事者の債務不履行等に関するMASへの損害等に対して保証しております。なお、債務総額は当該関連当事者の総運用資産額に応じて保証状にて定められております。

## （イ）財務諸表提出会社と同一の親会社をもつ会社

前事業年度（自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日）

種類	会社等の名称	所在地	資本金または出資金 (百万円)	事業の内容	議決権等の所有 (被所有) 割合 (%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (百万円) (注1)	科目	期末残高 (百万円)
同一の親会社をもつ会社	大和証券(株)	東京都千代田区	100,000	金融商品取引業	-	証券投資信託受益証券の募集販売	証券投資信託の代行手数料 (注2)	28,838	未払手数料	3,751
同一の親会社をもつ会社	(株)大和総研ビジネス・イノベーション	東京都江東区	3,000	情報サービス業	-	ソフトウェアの開発	ソフトウェアの購入(注3)	685	未払費用	348
同一の親会社をもつ会社	大和プロパティ(株)	東京都中央区	100	不動産管理業	-	本社ビルの管理	不動産の賃借料(注4)	978	長期差入保証金	971

## 取引条件及び取引条件の決定方針等

(注1) 上記金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

(注2)証券投資信託の代行手数料については、証券投資信託の信託約款に定める受益者が負担する信託報酬のうち、当社が受け取る委託者報酬から代理事務に係る手数料として代行手数料を支払います。委託者報酬の配分は、両者協議のうえ合理的に決定しております。

(注3)ソフトウェアの購入については、市場の実勢価格を勘案して、その都度交渉の上、購入価格を決定しております。

(注4)差入保証金および賃借料については、近隣相場等を勘案し、交渉の上、決定しております。

当事業年度（自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日）

種類	会社等の名称	所在地	資本金または出資金 (百万円)	事業の内容	議決権等の所有 (被所有)割合 (%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (百万円) (注1)	科目	期末残高 (百万円)
同一の親会社をもつ会社	大和証券(株)	東京都千代田区	100,000	金融商品取引業	-	証券投資信託受益証券の募集販売	証券投資信託の代行手数料(注2)	27,062	未払手数料	3,188
同一の親会社をもつ会社	(株)大和総研ビジネス・イノベーション	東京都江東区	3,000	情報サービス業	-	ソフトウェアの開発	ソフトウェアの購入(注3)	593	未払費用	252
同一の親会社をもつ会社	大和プロパティ(株)	東京都中央区	100	不動産管理業	-	本社ビルの管理	不動産の賃借料(注4)	1,028	長期差入保証金	1,027

#### 取引条件及び取引条件の決定方針等

(注1)上記金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

(注2)証券投資信託の代行手数料については、証券投資信託の信託約款に定める受益者が負担する信託報酬のうち、当社が受け取る委託者報酬から代理事務に係る手数料として代行手数料を支払います。委託者報酬の配分は、両者協議のうえ合理的に決定しております。

(注3)ソフトウェアの購入については、市場の実勢価格を勘案して、その都度交渉の上、購入価格を決定しております。

(注4)差入保証金および賃借料については、近隣相場等を勘案し、交渉の上、決定しております。

## 2.親会社に関する注記

株式会社大和証券グループ本社（東京証券取引所、名古屋証券取引所に上場）

### (1株当たり情報)

前事業年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)		当事業年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)	
1株当たり純資産額	16,052.69円	1株当たり純資産額	15,826.85円
1株当たり当期純利益	5,148.94円	1株当たり当期純利益	5,084.10円

(注1)潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(注2)1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	前事業年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)	当事業年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)
当期純利益(百万円)	13,431	13,262
普通株式の期中平均株式数(株)	2,608,525	2,608,525

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 中間財務諸表

## (1) 中間貸借対照表

(単位:百万円)

		当中間会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金・預金		22,153
有価証券		529
未収委託者報酬		9,521
繰延税金資産		428
その他		351
流動資産合計		32,984
固定資産		
有形固定資産	1	241
無形固定資産		
ソフトウェア		2,212
その他		252
無形固定資産合計		2,465
投資その他の資産		
投資有価証券		7,003
関係会社株式		5,129
その他		1,296
投資その他の資産合計		13,430
固定資産合計		16,137
資産合計		49,121

(単位:百万円)

		当中間会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
未払金		7,144
未払費用		3,762
未払法人税等		1,205
賞与引当金		733
その他	3	434
<b>流動負債合計</b>		<b>13,279</b>
<b>固定負債</b>		
退職給付引当金		2,301
役員退職慰労引当金		122
その他		9
<b>固定負債合計</b>		<b>2,432</b>
<b>負債合計</b>		<b>15,712</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金		15,174
<b>資本剰余金</b>		
資本準備金		11,495
<b>資本剰余金合計</b>		<b>11,495</b>
<b>利益剰余金</b>		
利益準備金		374
<b>その他利益剰余金</b>		
繰越利益剰余金		6,184
<b>利益剰余金合計</b>		<b>6,559</b>
<b>株主資本合計</b>		<b>33,229</b>
<b>評価・換算差額等</b>		
その他有価証券評価差額金		179
<b>評価・換算差額等合計</b>		<b>179</b>
<b>純資産合計</b>		<b>33,408</b>
<b>負債・純資産合計</b>		<b>49,121</b>

## (2) 中間損益計算書

(単位:百万円)

		当中間会計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)



営業収益		
委託者報酬		39,705
その他営業収益		356
営業収益合計		40,062
営業費用		
支払手数料		20,125
その他営業費用		5,997
営業費用合計		26,122
一般管理費	1	5,754
営業利益		8,184
営業外収益	2	165
営業外費用	3	59
経常利益		8,290
特別利益		-
特別損失	4	260
税引前中間純利益		8,029
法人税、住民税及び事業税		3,936
法人税等調整額		1,393
中間純利益		5,486

### (3) 中間株主資本等変動計算書

当中間会計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日）

	株主資本					
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本合計
		資本準備金	利益準備金	その他利益 剰余金	利益剰余金 合計	
				繰越利益 剰余金		
当期首残高	15,174	11,495	374	13,960	14,334	41,004
当中間期変動額						
剰余金の配当	-	-	-	△ 13,261	△ 13,261	△ 13,261
中間純利益	-	-	-	5,486	5,486	5,486
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	-	-	-	-	-	-
当中間期変動額合計	-	-	-	△ 7,775	△ 7,775	△ 7,775
当中間期末残高	15,174	11,495	374	6,184	6,559	33,229

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	280	280	41,284
当中間期変動額			
剰余金の配当	-	-	△ 13,261
中間純利益	-	-	5,486
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△ 100	△ 100	△ 100
当中間期変動額合計	△ 100	△ 100	△ 7,875
当中間期末残高	179	179	33,408

## 注記事項

(重要な会計方針)

## 1. 有価証券の評価基準及び評価方法

## (1) 子会社

移動平均法による原価法により計上しております。

## (2) その他有価証券

時価のあるもの

中間決算日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)を採用しております。

時価のないもの

移動平均法による原価法を採用しております。

## 2. 固定資産の減価償却の方法

## (1) 有形固定資産

定額法によっております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物	10～18年
器具備品	4～20年

## （２）無形固定資産

定額法によっております。

ただし、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（５年間）に基づく定額法によっております。

## ３．引当金の計上基準

### （１）賞与引当金

役員及び従業員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額の当中間会計期間負担額を計上しております。

### （２）退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当社の退職金規程に基づく当中間会計期間末要支給額を計上しております。これは、当社の退職金は、将来の昇給等による給付額の変動がなく、貢献度、能力及び実績等に応じて事業年度ごとに各人別の勤務費用が確定するためであります。また、執行役員・参与についても、当社の退職金規程に基づく当中間会計期間末要支給額を計上しております。

### （３）役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、当社の役員退職慰労金規程に基づく当中間会計期間末要支給額を計上しております。

## ４．その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項

### （１）消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。

### （２）連結納税制度の適用

連結納税制度を適用しております。

## （中間貸借対照表関係）

### １ 減価償却累計額

	当中間会計期間 (平成28年9月30日現在)
有形固定資産	273百万円

### ２ 保証債務

当中間会計期間（平成28年9月30日現在）

子会社であるDaiwa Asset Management(Singapore)Ltd.の債務1,554百万円に対して保証を行っております。

## 3 消費税等の取扱い

仮払消費税等及び仮受消費税等は、相殺のうえ、金額的重要性が乏しいため、流動負債の「その他」に含めて表示しております。

## ( 中間損益計算書関係 )

## 1 減価償却実施額

	当中間会計期間 (自 平成28年 4月 1日 至 平成28年 9月30日)
有形固定資産	16百万円
無形固定資産	528百万円

## 2 営業外収益の主要項目

	当中間会計期間 (自 平成28年 4月 1日 至 平成28年 9月30日)
受取配当金	62百万円
投資有価証券売却益	53百万円

## 3 営業外費用の主要項目

	当中間会計期間 (自 平成28年 4月 1日 至 平成28年 9月30日)
為替差損	23百万円
投資有価証券売却損	16百万円

## 4 特別損失の主要項目

	当中間会計期間 (自 平成28年 4月 1日 至 平成28年 9月30日)
MMF等償還関連費用	260百万円

## ( 中間株主資本等変動計算書関係 )

当中間会計期間 (自 平成28年 4月 1日 至 平成28年 9月30日)

## 1 . 発行済株式の種類及び総数に関する事項

( 単位 : 千株 )

	当事業年度期首 株式数	当中間会計期間 増加株式数	当中間会計期間 減少株式数	当中間会計期間末 株式数
発行済株式				
普通株式	2,608	-	-	2,608

合計	2,608	-	-	2,608
----	-------	---	---	-------

## 2. 配当に関する事項

## 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日
平成28年6月23日 定時株主総会	普通株式	13,261	5,084	平成28年 3月31日	平成28年 6月24日

(金融商品関係)

当中間会計期間(平成28年9月30日)

## 金融商品の時価等に関する事項

中間貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含めておりません(注2)参照のこと)。

(単位:百万円)

	中間貸借対照表計上額	時価	差額
(1) 現金・預金	22,153	22,153	-
(2) 未収委託者報酬	9,521	9,521	-
(3) 有価証券及び投資有価証券 その他有価証券	6,511	6,511	-
資産合計	38,186	38,186	-
(1) 未払金	7,144	7,144	-
(2) 未払費用(*)	3,762	3,762	-
負債合計	10,906	10,906	-

(\*) 未払費用のうち金融商品で時価開示の対象となるものを表示しております。

## (注1) 金融商品の時価の算定方法

資 産

## (1) 現金・預金及び(2) 未収委託者報酬

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

## (3) 有価証券及び投資有価証券

これらの時価について、株式は取引所の価格によっております。また、証券投資信託については、基準価額によっております。また、保有目的ごとの有価証券に関する事項については、注記事項(有価証券関係)をご参照下さい。

負 債

## (1) 未払金及び(2) 未払費用

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(注2) 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

(単位：百万円)

区分	当中間会計期間
非上場株式	1,021
子会社株式	5,129
差入保証金	1,051

これらは、市場価格がなく、かつ将来キャッシュフローを見積ることなどができず、時価を把握することが極めて困難と認められるものであるため、時価開示の対象としておりません。

(有価証券関係)

当中間会計期間(平成28年9月30日)

1. 子会社株式及び関連会社株式

子会社株式(中間貸借対照表計上額 5,129百万円)は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、記載しておりません。

2. その他有価証券

	中間貸借対照表 計上額 (百万円)	取得原価 (百万円)	差額 (百万円)
中間貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの			
(1) 株式	111	55	56
(2) その他			
証券投資信託	3,994	3,627	366
小計	4,105	3,682	422
中間貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの			
その他			
証券投資信託	2,406	2,569	163
小計	2,406	2,569	163
合計	6,511	6,252	259

(注) 非上場株式(中間貸借対照表計上額 1,021百万円)については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

(セグメント情報等)

## [ セグメント情報 ]

当中間会計期間（自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 9 月30日）

当社は、資産運用に関する事業の単一セグメントであるため記載を省略しております。

## [ 関連情報 ]

当中間会計期間（自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 9 月30日）

## 1. サービスごとの情報

単一のサービス区分の営業収益が中間損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## ( 1 ) 営業収益

内国籍投資信託又は本邦顧客からの営業収益が中間損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

## ( 2 ) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が中間貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

営業収益のうち、中間損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

## [ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報 ]

当中間会計期間（自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 9 月30日）

該当事項はありません。

## [ 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報 ]

当中間会計期間（自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 9 月30日）

該当事項はありません。

## [ 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報 ]

当中間会計期間（自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 9 月30日）

該当事項はありません。

## ( 1 株当たり情報 )

当中間会計期間 ( 自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 9 月30日 )	
1 株当たり純資産額	12,807.54円
1 株当たり中間純利益金額	2,103.26円

(注1) 潜在株式調整後1株当たり中間純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(注2) 1株当たり中間純利益金額の算定上の基礎は、以下の通りであります。

当中間会計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	
中間純利益(百万円)	5,486
普通株式に係る中間純利益(百万円)	5,486
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-
普通株式の期中平均株式数(株)	2,608,525

(重要な後発事象)

該当事項はありません。



#### 4 【利害関係人との取引制限】

原有価証券届出書の「第三部 委託会社等の情報 第1 委託会社等の概況 4 利害関係人との取引制限および5 その他」を次の内容に訂正・更新します。

<訂正後>

委託会社は、「金融商品取引法」の定めるところにより、利害関係人との取引について、次に掲げる行為が禁止されています。

自己又はその取締役若しくは執行役との間における取引を行なうことを内容とした運用を行なうこと（投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。）。

運用財産相互間において取引を行なうことを内容とした運用を行なうこと（投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。）。

通常の取引の条件と異なる条件であって取引の公正を害するおそれのある条件で、委託会社の親法人等（委託会社の総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下において同じ。）又は子法人等（委託会社が総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下同じ。）と有価証券の売買その他の取引又は店頭デリバティブ取引を行なうこと。

委託会社の親法人等又は子法人等の利益を図るため、その行なう投資運用業に関して運用の方針、運用財産の額若しくは市場の状況に照らして不必要な取引を行なうことを内容とした運用を行なうこと。

上記に掲げるもののほか、委託会社の親法人等又は子法人等が関与する行為であって、投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれのあるものとして内閣府令で定める行為。

#### 5 【その他】

##### a. 定款の変更、事業譲渡または事業譲受、出資の状況その他の重要事項

提出日前1年以内において、定款の変更、事業譲渡または事業譲受、出資の状況その他の重要事項に該当する事実はありません。

##### b. 訴訟事件その他委託会社に重要な影響を及ぼすことが予想される事実

訴訟事件その他委託会社に重要な影響を及ぼすことが予想される事実はありません。  
会社に重要な影響を及ぼすことが予想される事実はありません。

### 第3 【その他】

<更新後>

(1) 目論見書の表紙から本文の前までの記載等について

<略>

委託会社のインターネットホームページのアドレスに加え、他のインターネットのアドレス（当該アドレスをコード化した図形等も含まれます。）を掲載することがあります。

<略>

## 独立監査人の監査報告書

平成29年2月17日

大和証券投資信託委託株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 飯田 浩司 印  
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 小林 英之 印  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているダイワ上場投信・TOPIX-17 情報通信・サービスその他の平成28年7月21日から平成29年1月20日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

### 財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### 監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、ダイワ上場投信・TOPIX-17 情報通信・サービスその他の平成29年1月20日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

### 利害関係

大和証券投資信託委託株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 . 上記は監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

(注) 2 . XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

[委託会社の監査報告書（当期）へ](#)

## 独立監査人の監査報告書

平成28年 5月27日

大和証券投資信託委託株式会社

取締役会 御中

### 有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	高波 博之	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	貞廣 篤典	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	内田 和男	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている大和証券投資信託委託株式会社の平成27年4月1日から平成28年3月31日までの第57期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

### 財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### 監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、大和証券投資信託委託株式会社の平成28年3月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

(注) 2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

[委託会社の監査報告書（当期中間）へ](#)

## 独立監査人の中間監査報告書

平成28年11月24日

大和証券投資信託委託株式会社

取締役会 御中

### 有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	高波 博之	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	貞廣 篤典	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	内田 和男	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている大和証券投資信託委託株式会社の平成28年4月1日から平成29年3月31日までの第58期事業年度の中間会計期間（平成28年4月1日から平成28年9月30日まで）に係る中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益計算書、中間株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について中間監査を行った。

### 中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した中間監査に基づいて、独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得るために、中間監査に係る監査計画を策定し、これに基づき中間監査を実施することを求めている。

中間監査においては、中間財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するために年度監査と比べて監査手続の一部を省略した中間監査手続が実施される。中間監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要な応じて追加の監査手続が選択及び適用される。中間監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。また、中間監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め中間財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### 中間監査意見

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、大和証券投資信託委託株式会社の平成28年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了す

る中間会計期間(平成28年4月1日から平成28年9月30日まで)の経営成績に関する有用な情報を表示しているものと認める。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注)1. 上記は中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

(注)2. XBRLデータは中間監査の対象には含まれていません。